

連続講座「東京外環道の工事のリスクを知る」第2回

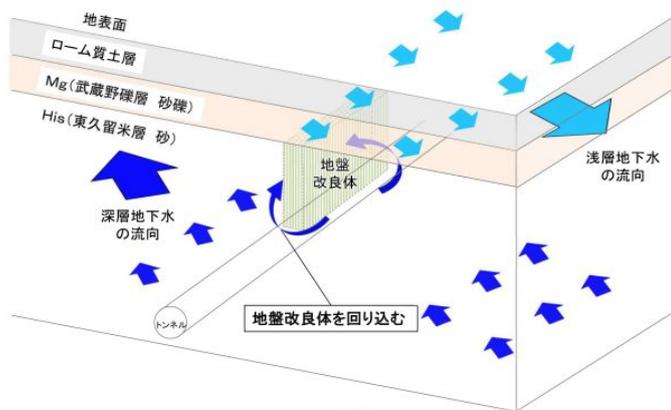
地盤補修工事は地下水 にどう影響するのか

▶住民らから事業者への質問状とそれへの回答をふまえて◀

2023年8月26日(土) 18:00-20:00

- 調布市東部公民館・学習室 (調布市若葉町1丁目29番地21) オンライン併用
- 参加費：無料 ●申し込み：[市民科学研究室ウェブサイト当該広報ページ](#)より
- 主催：外環振動・低周波音調査会 ●発表：調査会メンバーから上田昌文ほか4名
- 問い合わせ：03-5834-8328 renraku@shiminkagaku.org 市民科学研究室

○地盤補修は、東久留米層以下を基本として、トンネル直上までを対象に行います。
○東久留米層は、水を通しやすい地盤であり、地下水は地盤改良体を回り込みます。



例えばこれは、上記「地盤補修の施工に関するオープンハウスの資料」
21 ページ:地下水の位置・流向・流動阻害の状況など、この図はいかなる
根拠のもとに作られているのか?……

2020年10月18日、調布市東つつじヶ丘2丁目付近で
地表面が陥没し、それ以降も地中に空洞が複数箇所発見
されました。これは「大深度法」を適用しての、東京外かく環状
道路の地下トンネルをシールドマシンで掘削することで引き
起こされた深刻な事故です。

NPO 法人市民科学研究室は、この陥没が生じたエリアと
その周辺の住民の方々と2021年5月に「外環振動・低周
波音調査会」を結成し、主として、振動・低周波音による健康
被害と、振動に起因する建物損壊の実態調査をすすめてき
ました(その調査の経緯や結果の一部を[こちら](#)にまとめてい
ます)。

現在、2023年7月の時点で、陥没地点を含む「直上エリ
ア」に対して、事業者は家屋の立ち退き・解体をすすめ、まさ
にこの月末から大規模な「地盤補修工事」を長期間にわた
って実施しようとしています(事業者側の説明資料の一つと
して「[地盤補修の施工に関するオープンハウスの資料](#)」が公
開されています)。

外環振動・低周波音調査会では、これまでの調査の経験
をふまえ、トンネル工学、地盤工学、土質力学、水理学などの
専門家からの助言もいただきながら、この地盤補修工事のリ
スクを多角的に検討し、事業者に必要な対策を迫っていくこ
とにしています。

このような取り組みを、外環道問題に関わる方々のみなら
ず、リニア中央新幹線や、地下構造物を築くための工事で
被害を受ける可能性のある方々にも、広く知っていただくた
めに、以下の連続学習会を企画しています。オンラインでの
参加も可能な無料の講座として開催します。ぜひ多くの方
にご参加いただければと思います。

<この先の学習会の予定>

第1回●23年5月27日◆外環道大深度地下トンネル工事による
建物損傷—その全容を把握するための住民調査の報告【終了】

第3回●23年11月◆外環道トンネル工事エリアの地形・地盤・地
質データを把握する

第4回●24年2月◆大深度地下・シールド工法の危険性を知る

第5回●24年5月◆陥没事故直上エリアでの地盤補修工事の危
険性を知る

第6回●24年8月◆低周波音・振動の健康被害研究の最前線と外
環エリアでの被害実態